

# 赤穂の 城散歩



本丸天守台からの展望

## 国史跡 赤穂城跡

浅野長直の指示によって慶安元年（1648）から13年の歳月をかけて築かれた赤穂城は、藩の家老で軍学師範であった近藤正純が設計したものです。そのうち二之丸門周辺の縄張は、当時の著名な軍学者であった山鹿素行の手が加えられたと伝えられています。このように、甲州流軍学にしたがって築かれた赤穂城は、海に面する平城であり、徳川幕府がはじまって約50年後に築かれたにもかかわらず、その構造は戦を強く意識し、複雑に折れ曲がる堀や石垣、角度を違える諸門に特徴があります。

明治以降、赤穂城は民間に払い下げられましたが、昭和27年の都市公園としての都市計画決定、昭和46年の国史跡指定をきっかけに公有化と整備が進められました。本丸門、厩口門、大手門、大石頼母助屋敷門、二之丸庭園表門、西仕切門といった門跡復元整備をはじめ、二之丸南側は都市公園として花見広場（元禄桜苑）の整備が進むなど、新しい城跡としてよみがえりつつあります。平成14年には、旧赤穂城庭園（本丸庭園・二之丸庭園）が国名勝に指定され、二之丸庭園の整備を鋭意進めているところです。今後も、赤穂市のシンボルにふさわしい整備を実施し、年月を重ねるにつれて往時の姿を取り戻す赤穂城跡をお楽しみください。



本丸厩口門



二之丸庭園



本丸門

城内には、大石良雄宅跡長屋門、近藤源八宅跡長屋門といった江戸時代建築物をはじめ、本丸庭園、武家屋敷公園、赤穂義士らを祀った大石神社、義士たちの居宅跡などがあります。

また、城周辺では赤穂の塩、赤穂の城と城下町、赤穂義士、旧赤穂上水道を常設展示する赤穂市立歴史博物館や、義士の墓碑、宝物館が見学できる花岳寺なども訪れてみてはいかがでしょうか。

赤穂の歴史散策を終えた後には、城内を南に歩いて石垣の美しさを堪能しつつ、花見広場で一息入れるのがおすすめです。さらに水手門を出て、江戸時代には海に面していた赤穂城の石垣を眺めるのもよいでしょう。

### ❁ お問合せ

赤穂市教育委員会 生涯学習課文化財係

〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地

TEL 0791-43-6962 FAX 0791-43-6895

<http://www.ako-hyg.ed.jp/bunkazai/>（兵庫県赤穂市の文化財）

本丸門

# 播州





### 大手門

赤穂城の表玄関。門、隅櫓、土塀は昭和30年(1955)に復元したもの。門をくぐって枡形を抜けると、平成15年に整備されたガイダンス施設である番所跡休憩所があります。



### 近藤源八宅跡長屋門 (市指定文化財)

城内に残された江戸時代の建物として、向かいの大石良雄宅跡長屋門とともに、当時の城内景観を現在に伝えます。土・日曜・祝日には無料公開しており、文化財ボランティアが常駐しています。



### 赤穂大石神社

赤穂歴代藩主、赤穂義士らを祀る神社。大正元年(1912)創立。大石良雄宅跡(国史跡)、義士宝物殿などが見学できます。

## 赤穂城跡全体図



### 本丸庭園 (国名勝)

平成8年(1996)に本丸門の枡形石垣とともに、高麗門、櫓門及び周辺の土塀が復元されました。御殿間取り復元、天守台の見学のほか、国名勝である本丸庭園が観賞できます。



### 赤穂市立歴史博物館

赤穂城の米蔵をイメージした博物館。「赤穂の塩」と「赤穂義士」「赤穂の城と城下町」「旧赤穂上水道」をテーマとし、国の重要有形民俗文化財である赤穂入浜式製塩用具も展示されています。



### 花見広場 (元禄桜苑)

遊水池と、1,000本を超える桜の名所となっています。米蔵跡休憩所でちょっと一休みして、水手門へ。